

障害者の自立支援いかに

障害基礎年金の水準引き上げは、年所得保護
障害者自立支援法の見直し
(障害者部会報告書の骨子)

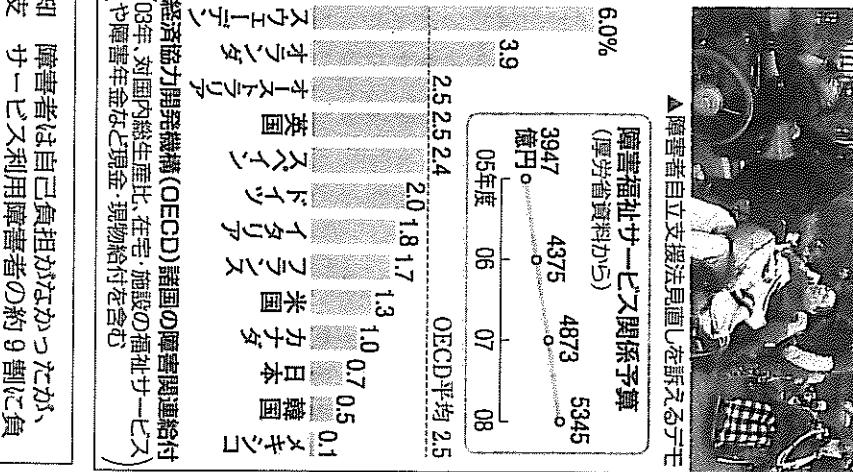
発達障害と高次脳機能障害について
自立支援法上の障害者に含まれる
ことを明確化

【利用者負担】
過度の負担にならないか今後も
さらに検討が必要。現行の負担軽減
措置を来年4月以降も継続
【事業所への報酬】
「目払い方式」の維持が考えられる。

報酬改定で必要な措置を講ずる

の原則1割を利用者が支払う負担を導入。それまでは所得じた応能負担で収入が低い大

一ムヘルバーバービスなどによる障害者への手当に比べる原則を要するが、障害者の生활をめぐらす問題が、負担の増減はあっても割り負担。障害者への手当に比べる原則をもつて、光熱費はかかる部屋の電気を消費する者もまた、利用して貰う者も同じく、改めて思ふ所だ。今、このじめめて思ふ所だ。今、これらを知らないと、現場を知らないと、地域差もあるって、財政難の市町村では補助金も十分出せないが、課題が交渉したり動かしたりする、課題の負担が増えていたりする。またがあるて、約8万人の障



卷之三

學生労働省の社企障議會書記部会の委員として今後も研議會に参画する。16日までに提出された報告書を採択する。10月15日には、公明大學の試験なら義務だ。自公連立政權で合意している「抜粋」

本質的な改革は打
たる所への改
革は、部門間での連携開拓もあ
る。一方で、所
長の職務の範
囲を広げて、そ
の職務を充実さ
せるべきだ。

A black and white portrait of Fukusumi Shizuka, a woman with short hair, looking slightly to her left. The photo is framed by a thick black border.

設置された。私は新たに住む家の中でも、他の入居者と同様に、毎日問題解決に取り組んでいます。しかし、この地域で暮らす人々は、年々増加の一途を辿っています。そのため、問題解決の手数料が高くなっています。そこで、私は、より効率的な問題解決方法を見つけるために、多くの人々と話し合ってきました。その結果、私は、問題解決のための新しいアプローチを見つけることができました。それは、「問題解決のためのコミュニケーション」です。これは、問題解決の手数料を減らすだけでなく、問題解決の過程で、人々がお互いに理解し、尊重する機会を提供するものです。これにより、問題解決の手数料が大幅に削減されることが期待できます。また、このアプローチによって、人々は、より効率的に問題解決を行えるようになります。そのため、私は、このアプローチを積極的に推進していきたいと考えています。